

オリックス生命におけるサステナビリティ



持続的な企業価値の向上と社会課題の解決の両立を目指します

サステナビリティの推進に向けて

「サステナビリティの考え方」

オリックス生命は、『想いを、心に響くカタチに。』との理念に基づき、「お客さまお一人おひとりの想いに共感し、心地よい距離感で寄り添う存在」となり、「永きにわたり社会と人びとの安心に貢献」していくことを目指しています。人生100年時代の到来に伴い、ますますお客さまの生き方や価値観が多様化する中、人生におけるリスクの考え方もさまざまになってきています。大きな変化を迎えているこのときに、お客さまお一人おひとりの人生に寄り添い、生命保険会社として何ができるのかを考え抜き、具現化していくことは私たちの使命であり、持続可能な社会の実現に向けた取組みでもあると考えています。

また、当社は、お客さまのライフスタイルやニーズの多様化に対応するため、強みであるオムニチャネルを活かしてお客さまとのつながりの拡充を図り、お一人おひとりのお客さまに最適な商品・サービスをご提供しています。生命保険事業を通じて、あらゆるお客さまに対して、元来、生命保険が有している社会のセーフティネットとしての役割を果たすことで、お客さまに確実に「安心」をお届けし、社会課題の解決に取組んでいます。

加えて、機関投資家としてお客さまからお預かりした保険料を運用する際には、中長期的な収益を確保するにあたり、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の要素に配慮した「ESG投資」を行っています。

これらの取組みに代表される事業活動を通じて、今後も当社の持続的な企業価値の向上を目指すとともに、社会課題の解決にも貢献してまいります。

生命保険事業を通じた主な取組み

- ✓ 人生100年時代を生きるあらゆる層のお客さまが抱えるさまざまな課題の解決に資する商品・サービスを開発
- ✓ ペーパーレス化によるGHG排出量の削減を実現するため、「ペーパーレス申込手続システム」を導入
- ✓ お客さまがお困りの際に、より迅速に給付金をお届けできるよう、パソコンやスマートフォンで完結できる「給付金請求ウェブ手続きサービス」を導入
- ✓ 耳や言葉の不自由なお客さまからの契約内容や各種手続きに関するお問合せに対して「手話・筆談通訳サービス」を開始
- ✓ カスタマーサービスセンターでの電話対応時に、オペレーターの声を高齢のお客さまが聞き取りやすいようにするため、「高齢者応対向け通話補助機器」を導入
- ✓ 社員一人ひとりが自分らしいキャリアを築き、長きにわたって働くことができるよう、管理職を目指すことを基本とした単線型の制度から、管理職にならずとも管理職と同等の評価・報酬を受取ることが可能となる複線型の人事制度に変更

※上記は既存の取組みの一部を抜粋したものです

資産運用におけるサステナビリティの考え方

生命保険会社の運用資産は、将来のお客さまへの保険金等の支払いを確実なものとするため、安定性・収益性・流動性に留意するほか、多くのお客さまから拠出された資金の集積であることから、国民経済や生活向上に資する公共性の確保も求められます。また生命保険契約は長期にわたるため、他の金融機関よりも長期間にわたって安定した運用収益を確保することが求められます。

当社はこうした生命保険会社の資産運用の特性を踏まえるとともに、オリックスグループの『サステナビリティポリシー』に基づき、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の課題を反映した「ESG投資」に取り組むことで、中長期的に収益を確保することと、持続可能な社会の実現に貢献することとの両立を目指します。

なお、当社は2022年にPRI署名機関となりました。当社の資産運用はすべての運用資産においてESG要素を組み入れることを求める責任投資原則(PRI)に準拠しています。

Signatory of:



資産運用を通じた主な取組み

手 法	概要・投資事例
テーマ型投資	<p>リスク・リターンを考慮したうえで、社会課題の解決につながる持続可能性に関するテーマを持った資産への投資を通じて持続可能な社会の実現に貢献するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 持続可能な社会の実現に貢献する再生可能エネルギー資産等を投資対象としたファンド等 ✓ 気候変動や環境問題への対応、社会インフラの整備等にご貢献するグリーンボンド、サステナブルボンド等 ✓ グリーンビルディング認証等を取得している環境性能の高い物件等を保有するファンド等 <div style="text-align: center;">  <p>※写真はイメージです。</p> </div>
ネガティブスクリーニング	<p>倫理的・社会的・環境的観点から、特定の資金用途や業種などを債券投資・融資の対象から除外するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 非人道的兵器(クラスター爆弾、対人地雷、生物兵器、化学兵器)の製造企業等 ✓ 石炭火力発電を主とするプロジェクト等
インテグレーション	<p>投資判断にあたり、投融資先企業等の財務情報のみならず、ESG等の非財務情報を考慮するもの</p>